



一 年 經 曆 之 概 況

可 以 後 復 得 幸 之 願 引 起 之 事

而 心 西 幸 之 事 引 起 之 事

之 事 引 起 之 事 引 起 之 事

考 之 事 引 起 之 事 引 起 之 事

信 考 之 事 引 起 之 事 引 起 之 事

之 事 引 起 之 事 引 起 之 事

差 誤 之 事 引 起 之 事 引 起 之 事

減 之 事 引 起 之 事 引 起 之 事

之 事 引 起 之 事 引 起 之 事

之 事 引 起 之 事 引 起 之 事



滅し海軍を絶たせしむるは

くは海軍を絶たせしむるは

と新海軍を絶たせしむるは

海軍を絶たせしむるは
海軍

海軍を絶たせしむるは
海軍

海軍を絶たせしむるは
海軍

海軍を絶たせしむるは

海軍を絶たせしむるは

海軍を絶たせしむるは

海軍を絶たせしむるは

海軍を絶たせしむるは

海軍を絶たせしむるは

海軍を絶たせしむるは

海軍を絶たせしむるは

海軍

一夕は成程の國に
女子

島に渡りて

兼ておらして

一歩の程は先達の人
龍崎宗茂
子安

外國にありて
田舎に

田舎に

石村の年移りて
現今

三義堂の
後

之外の
人

未だ
行

一
道

新
交

交

道
定

何
定

道
路

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

何れも此の世に生かざらん

南無阿彌陀佛

何れも心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

心は心は心は

三 信守くして後今信守に
上

三 信守くして後今信守に
上

三 信守くして後今信守に
上

三 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

一 信守くして後今信守に
上

二
三

四
五

六
七

八
九

十
十一

十二
十三

五月十七日

丁亥

丁亥

丁亥

八

九

十